

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

職場アンケート 8割以上「生活費が不足」

CTSと団体交渉／大幅賃上げは待ったなし



動労千葉は3月29日、CTSと4月以降の新賃金をめぐる団体交渉を行いました。

会社が表示した22年度の決算概要では、増収増益（4300万円の営業黒字、対前年比121%）の見通しでした。

営業収益は、昨年に続いてJR東日本がCTSに対する業務委託費（清掃＋運転）を年間9千万円も減額（清掃5千万円、運転4千万円）し収入が大きく減り、他方で、コインロッカー収入が大幅に回復したことで、トータルでは増収となっています。

他方で支出は、人件費の大幅削減（4900万円減）が明らかになりました。21年度の人件費が1億1800万円減、この2年で約1億7千万円の人件費の削減です。

JR東はコスト削減をやめろ

団体交渉の中でCTSは、コロナを理由に「5年間で10%のコスト削減」の目標がJR東日本から示されており、それは今後も継続する見通しであると回答しました。

JR東日本のコスト削減の命令が、人件費

削減＝要員削減として現場に労働強化を押し付けているのです。21年度は、CTS全体で社員約30人の減少、昨年度も約30人の減少となっています。退職しても新たな要員は補充されず、一人ひとりの負担は確実に増えています。

現場から声を上げ大幅賃上げを

この3年間、社員はベースアップなし、契約パート社員もわずか時給10円増。他方で物価は大きく上昇し、賃上げは切実な問題です。

組合からは、「職場アンケートでは8割が生活費の不足を訴えている。賃上げ希望額の平均は約4万円だ。水光熱費・食品をはじめとする諸物価の高騰で年間の支出増は10万円を超えている。春以降の電気代の再値上げも迫る中、基本賃金の大幅な引き上げが求められている。特別支援一時金（3万円）の支給にとどめることなく基本賃金の大幅なベースアップを決断すべき時だ」と訴えました。

さらに、「消費者物価指数は昨年比でプラス4.1%。4%の賃上げでようやく現状維持だ。ここで賃金を上げなければ、実質的な賃下げだと大幅なベアの実施を強く迫りました。」

*
現場から声を上げ、今年こそ大幅賃上げを勝ちとろう。